



ユネスコ

世界記憶遺産に

「全国水平社創立宣言と関係資料」を

■「世界記憶遺産」とは？

正式名称、「世界の記憶」(Memory Of the World : MOW)。
ユネスコが主催する事業のひとつで、危機に瀕した書物や文書などの
歴史的記憶遺産を保全し、広く公開することを目的にした事業。
1997年から2年毎に登録事業をおこなっており、現在、フランス人権宣言、
ベートーベン交響曲第9番直筆楽譜、『アンネの日記』など301件が登録
されており、日本からは「山本作兵衛コレクション」(2011年)、
『御堂関白記』、『慶長遣欧使節関係資料』(2013年、スペインと共同申請)
が登録されています。

■世界記憶遺産に登録を目指す

「全国水平社創立宣言と関係資料」

私たちが登録をめざすのは、1922年3月3日の全国水平社創立大会で
採択された「全国水平社創立宣言」とその関係資料の15点です。
全国水平社創立宣言は、過去の同情的な融和運動を拒否して部落民自らが誇りを
持ち、自主的集団の解放運動に立ち上がることを述べ、日本初の「人権宣言」と
して人権史上高く評価されてきました。また、全国水平社創立の翌年には、
アメリカの雑誌『NATION』に全国水平社創立宣言の英訳が掲載され、
当時の朝鮮、ソ連、イギリスの新聞でも紹介されるなど世界的な意義を持つ
被差別者が出した世界初の「人権宣言」で、世界記憶遺産にふさわしい記録です。

■申請者と代理人・提出者

全国水平社創立宣言を世界記憶遺産に申請するのは水平社博物館を運営する
公益財団法人奈良人権文化財団(奈良県御所市)と柳原銀行記念資料館を
運営する崇仁自治連合会(京都市)で、申請者代理人に元国連大学副学長・
反差別国際運動副理事長・同日本委員会理事長の武者小路公秀さんに就任
いただきました。

■「『全国水平社創立宣言と関係資料』の ユネスコ世界記憶遺産登録をめざす会」

崇仁自治連合会・柳原銀行記念資料館、
公益財団法人奈良人権文化財団・水平社博物館と
部落解放同盟中央本部、一般社団法人部落解放・人権研究所、公益社団法人福岡県人権研究所、
公益財団法人大阪人権博物館、反差別国際運動日本委員会が
「『全国水平社創立宣言と関係資料』のユネスコ世界記憶遺産登録をめざす会」を設立し、
日本ユネスコ国内委員会に登録の働きかけをしています。皆様のご支援とご協力をお願いします。

「全国水平社創立宣言と関係資料」のユネスコ世界記憶遺産申請に関する連絡先は
水平社博物館 住所：〒639-2244 奈良県御所市柏原235-2
電話番号：0745-62-5588